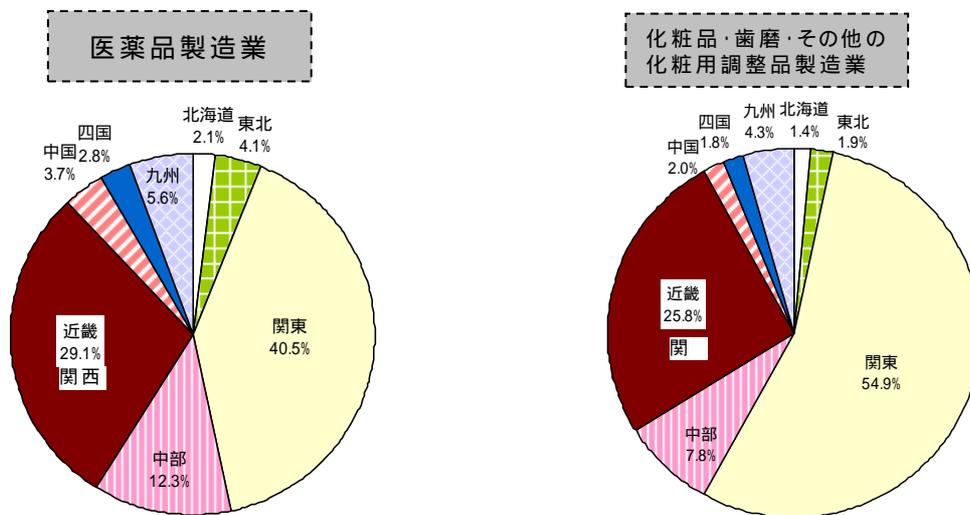


## 4. 健康文化産業に関する関西のポテンシャル

### (1) 健康文化産業を創出する関西のポテンシャル

関西は、バイオ、医療、ライフサイエンスといった分野でみた場合、神戸医療産業都市構想や彩都ライフサイエンスパーク、関西文化学術研究都市などにみられるように、厚みのある産業集積を有しており、健康文化産業を生み出す素地のある地域といえる。また、健康の中核となる医薬品製造業は全国のうち 29.1%、化粧品・歯磨き・その他の化粧用調整製造業は同 25.8%の事業所が存在する。「健康」をキーワードとした連携を進めやすい環境にあるといえる。

図表2-24 関西における事業所数の構成比

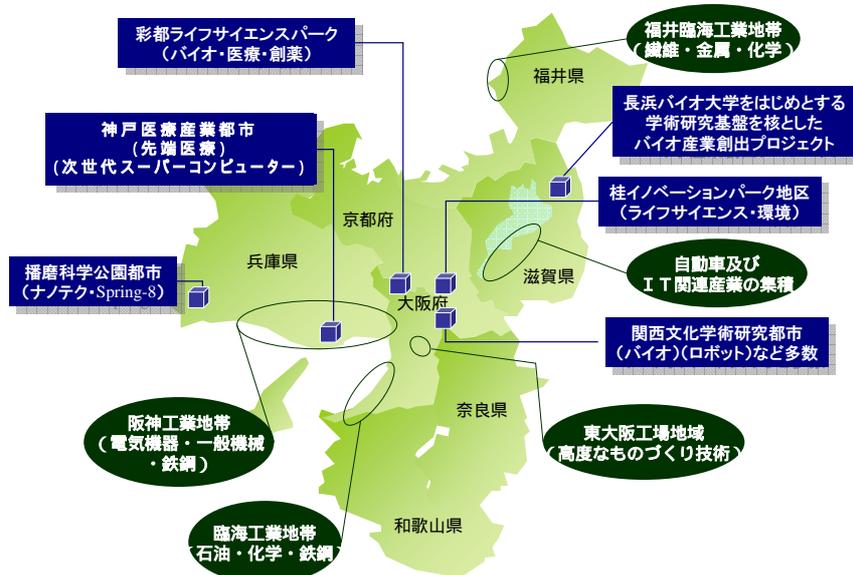


(健康関連産業の内訳)

医薬品製造業、化粧品・歯磨き・その他の化粧用調整品製造業、  
医療用器械器具・医療用品製造業、医薬品・化粧品卸売業、療術業

出典) 総務省「平成 18(2006)年事業所・企業統計調査」

図表2-25 関西における産業集積の状況



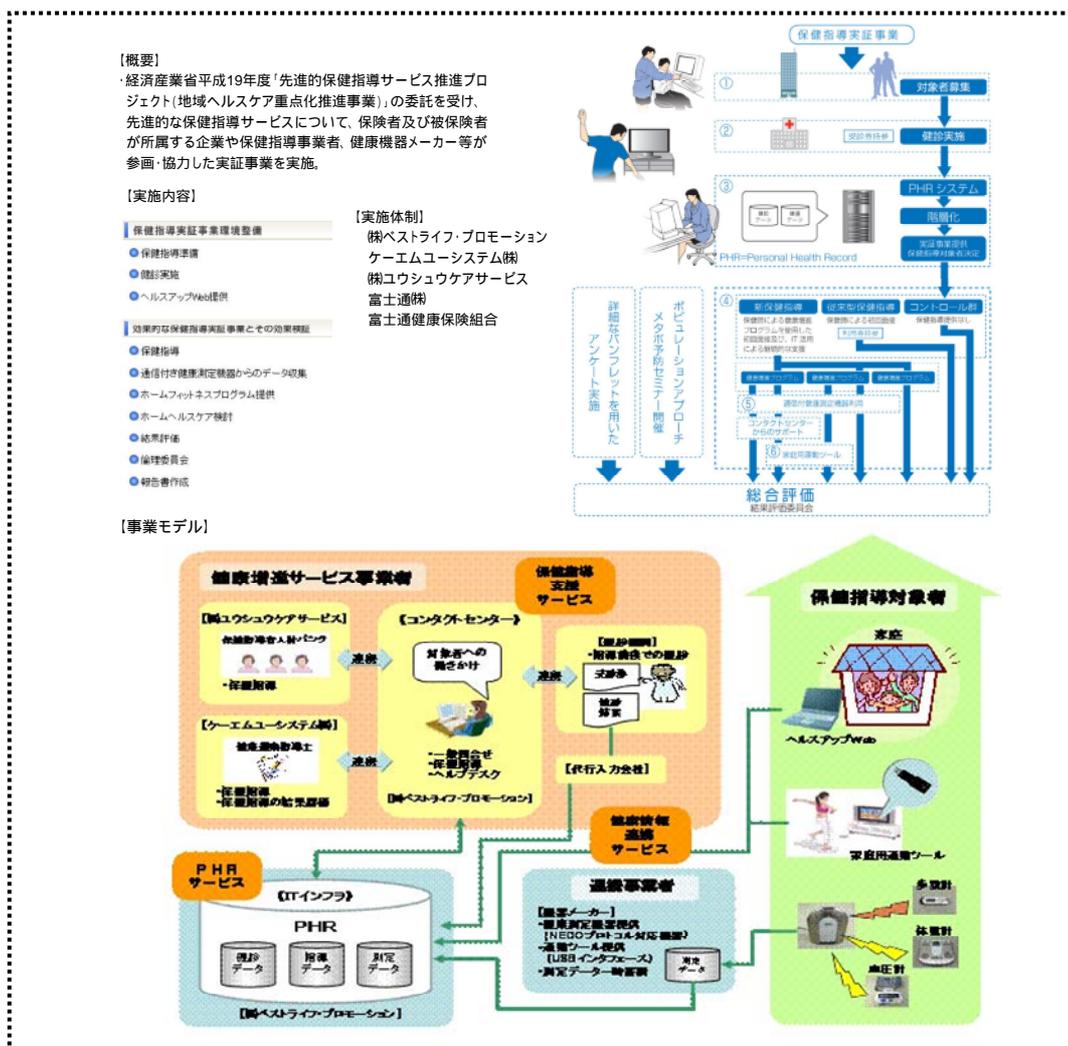
出典) 経済産業省近畿経済産業局「Welcome to 関西(2008年12月発行)」

一方、ホームヘルスカケア 創造コンソーシアムや 大東ダイナミックプロジェクトによる取組にみられるように、健康サービス産業において特徴的な取組が展開されている。進取の気風に富む関西ならではの、新たな試みが展開されている。つまり、関西は、健康文化産業の創出・振興を牽引するポテンシャルを有するものと考えられる。

図表2-26 関西における健康効果の「見える化」に関する取組（例）

実施主体	取組例
ホームヘルスカケア創造コンソーシアム	「エビデンスに関するデータ収集に関する取組」 構成企業：(株)ベストライフ・プロモーション、ケ-エムユ-システム(株)、(株)コウシュウケアサービス、富士通(株)、富士通健康保険組合
大東ダイナミックプロジェクト	「「笑い」と「運動」にメンタルサポートを取り入れ、「健康」を玄関先まで「出前」する健康サービス」 大東市、大阪産業大学、(有)OSUヘルスサポートアカデミー、(株)デサント、ハウス食品(株)、三洋電機(株)

図表2-27 ホームヘルスカケア創造コンソーシアムの取組



出典)各種公表資料等より作成

図表2-28 大東ダイナミックプロジェクトの取組

大東ダイナミックプロジェクトは、大東市の高齢者などに出前形式で、健康教室やお笑いタレントが参加するイベントなどを企画、実施し、「笑い」「運動」が健康に及ぼす影響について科学的に検証するプログラムで、経済産業省の2004年度「健康サービス産業創出支援事業」のモデル事業に採択されている。  
採択事業終了後も、プロジェクトは継続している。

【事業の概要】

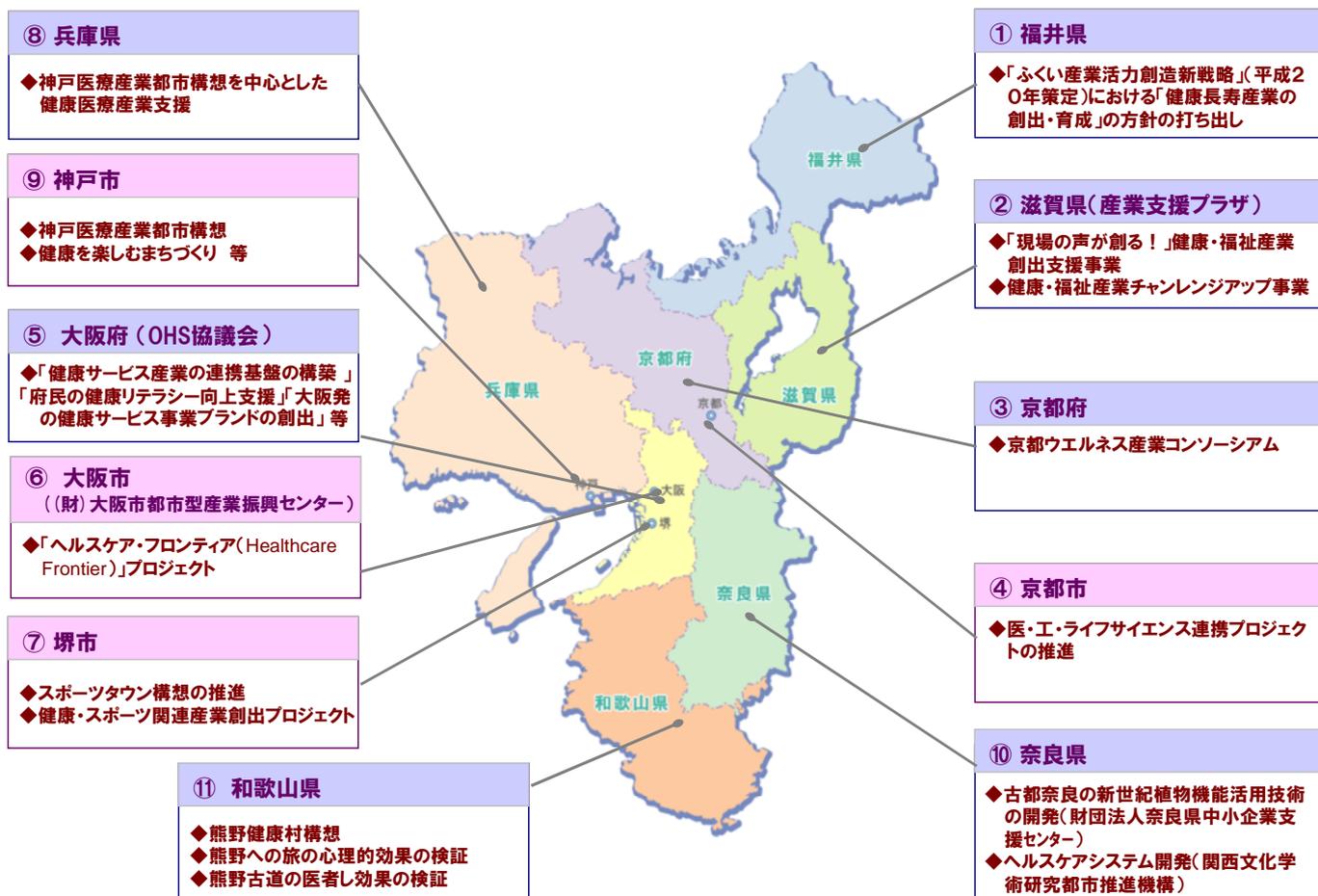
<p><b>事業領域</b></p>	<p>「笑い」と「運動」にメンタルサポートを取り入れ、“健康”を玄関先まで「出前」する健康サービスを、産官学の連携により実施するもの。また「笑い」「運動」が健康に及ぼす影響について科学的に検証する。</p>
<p><b>事業スキーム</b></p>	<p>大東ダイナミックプロジェクト (大阪産業大学内に活動拠点を設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「ごきげん屋」プログラム 出前方式による運動教室 (メンタルサポートも実施)</li> <li>②「たのしんで屋」プログラム 健康ノウハウに笑いをアレンジした企画イベント</li> <li>③「みんなの健康」システム 健康管理データベース (運動・身体機能測定データ等)</li> </ul> <p>大東市民 60歳以上の希望者が登録</p> <p>村上和雄 筑波大学名誉教授 ●「笑い・運動」が健康に及ぼす影響を、遺伝子解析によって科学的に検証</p> <p>企業との協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●三洋電機(株) 「みんなの健康システム」の開発</li> <li>●(株)デザント 多機能ウェア、快速スポーツ用品の開発と紹介 NEWSポーツ・スポーツイベントの開催</li> <li>●ハウス食品(株) 機能食品、ユニバーサルフードの開発と紹介 健康お料理教室&amp;試食会</li> </ul> <p>地元医師との協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●かかりつけ医による患者への参加促進</li> <li>●「みんなの健康」システムへの参加</li> <li>●「ごきげん屋」「たのしんで屋」プログラムへの参加</li> </ul> <p>協力企業・団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吉本興業(株)</li> <li>(社)大東・四条曜医師会</li> <li>(財)国際科学振興財団 (村上和雄 筑波大学名誉教授)</li> <li>(医)倉島会ダイナミックスポーツ医学研究所</li> </ul> <p>産 (有)OSU Health Support Academy (株)デザント ハウス食品(株) 三洋電機(株)</p> <p>官 大東市</p> <p>学 大阪産業大学</p>
<p><b>事業フィールド</b></p>	<p>・専用車「ごきげん屋号」により大東市内 10ヶ所 12 会場を巡回 ・市内ホール、体育館、野外等</p>

出典)近畿経済産業局「近畿における健康サービス産業創出・育成のための基盤整備のあり方調査報告書(2006年2月)」、「大東ダイナミックプロジェクト」HPより作成

## (2) 健康文化産業を支援する自治体の取組

関西の地方自治体においても、健康文化産業の振興に関連する様々な施策が実施されている。具体的な支援内容は、研究開発・エビデンス構築支援から健康関連情報基盤の整備、産官学連携やマッチング支援まで多岐にわたり、各自治体の特色が現れている。

図表2-29 健康文化産業に関する関西の自治体の取組概要



出典) 公表資料やインタビュー- 調査結果を基に作成

福井県

- ・今後の産業の指針となる「ふくい産業活力創造新戦略」を2008年2月に策定し、その中で、健康長寿を福井が有する強みと捉え、「健康長寿関連産業の創出・育成」を重点テーマと据える。
- ・現在、健康長寿産業の推進委員会を設置し、今後の推進方策について検討中。

### Ⅲ ふくい産業活力創造新戦略

[ 福井から売る ]

#### 1 ふくい中量・高付加価値生産モデルの構築

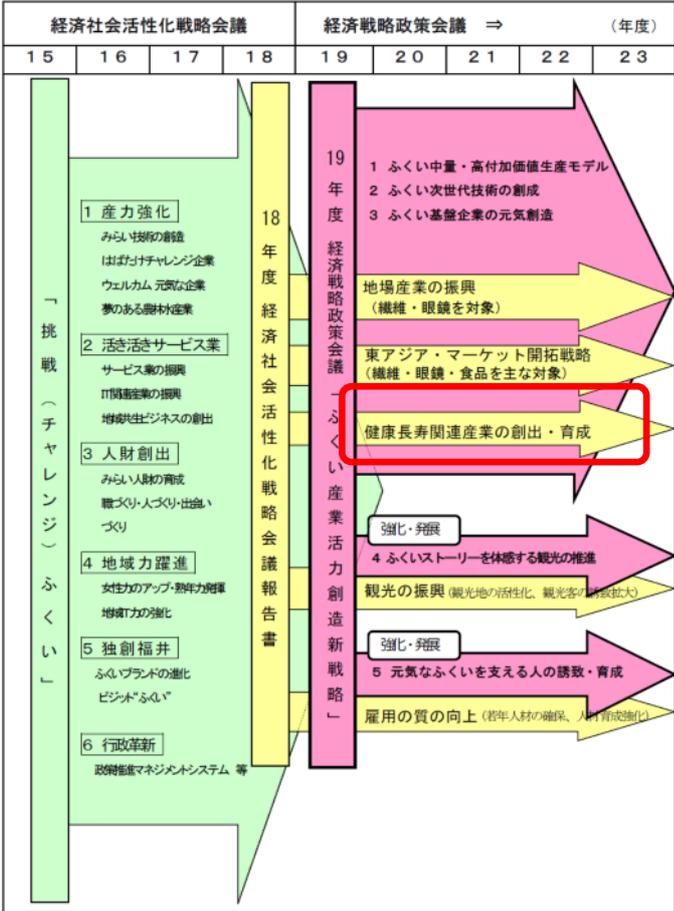
- ・ 福井の強みは、歴史・文化に育まれた「衣」、「食」、「住」にある。
- ・ 「衣」は、福井を代表する繊維、眼鏡などのファッション産業
- ・ 「食」は、福井の健康長寿を支える食材、加工食品
- ・ 「住」は、漆器、和紙、刀物、焼物などの伝統工芸 等

・ このため、衣食住に焦点を当てて、中量生産モデルを構築し、福井ブランドを確立する。

・ その際、衣食住の分野を超えた横断的な取組みが付加価値を高めることに留意すべきである。(例えば、農産品や菌から健康食品の原料を取り出すなど 分野横断に)



福井県  
Fukui Prefecture



出典) 福井県「ふくい産業活力創造新戦略」

滋賀県(産業支援プラザ)

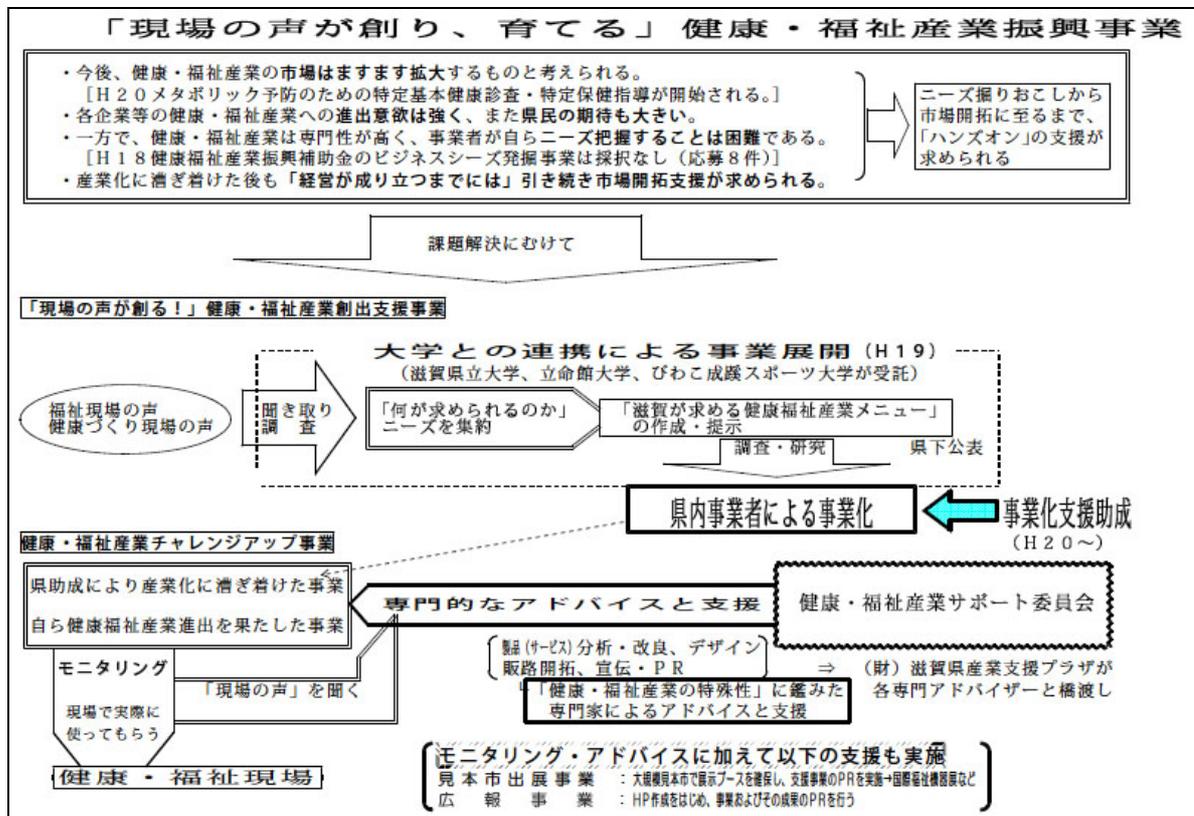
・「現場の声」を活かした健康・福祉産業の創出・振興をはかるため 滋賀県が産業支援プラザに委託し、以下の2つの事業を実施。

「現場の声が創る！」健康・福祉産業創出支援事業

新たな健康・福祉産業創出にむけた調査・研究を行い、その結果を産業界に提示するとともに、その事業化にむけた支援を行っている。

健康・福祉産業チャレンジアップ事業

健康・福祉事業の専門家からなるサポート委員会により支援、製品・サービスのブラッシュアップにむけたモニタリング事業、見本市出展や WEB ページ 掲載などの市場開拓支援を行っている。



出典)滋賀県提供資料より

京都府

【京都ウエルネス産業コンソーシアム】

・医療・分析機器関連産業をはじめ、発酵・新品種開発・機能性食品などの分野で特徴のある企業や関連する大学・研究機関が集積する京都の優位性を活かし、次代の京都産業を牽引するウエルネス(健康創出)産業を振興・育成するため、2005年7月21日に設立。

ウエルネス

健康な心・体・社会生活を得て、単なる健康にとどまらず、積極的・創造的な健康増進を目的とする生活行動の総称。ウエルネス産業とは、ライフサイエンス(生命科学)、バイオ、医療、ヘルスケア(健康管理)等幅広い関連部門を包括する産業分野をいう。

【ウエルネスベンチャー 事業化支援事業】

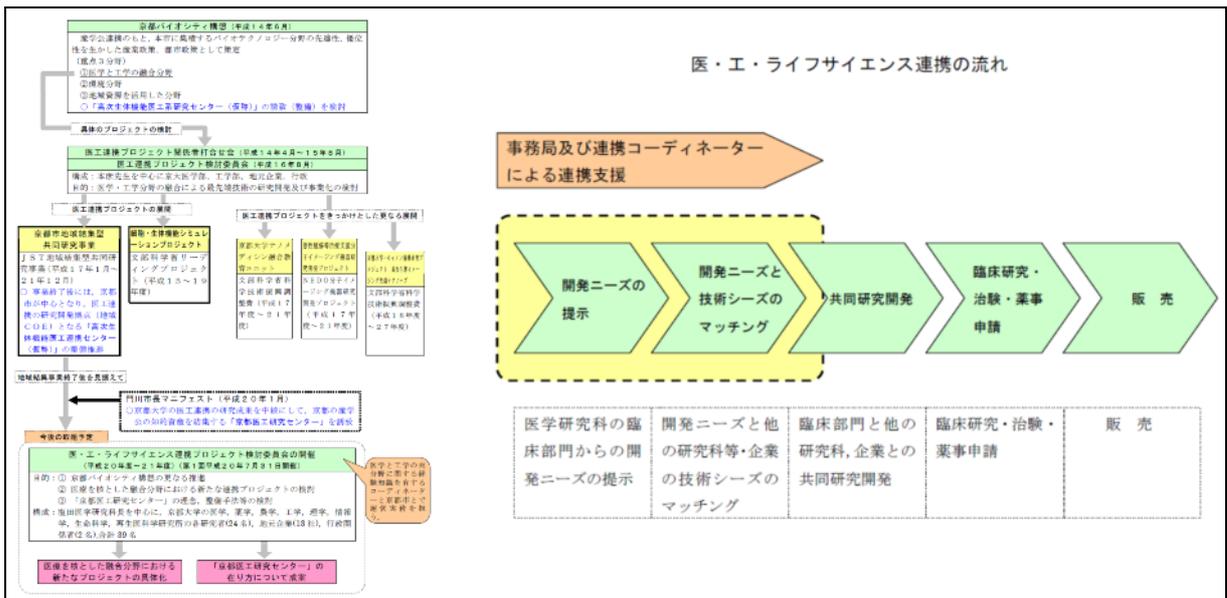
・ウエルネス分野の創業や新分野進出をめざしてコンソーシアム 参画大学と共同で研究開発を行なう中小・ベンチャー 企業に対して、研究開発費の一部を支援し成長をサポートする。

【産学公連携グループ 共同研究支援事業】

・ウエルネスの維持・向上に役立つ地域資源やノウハウを活用し、ウエルネス分野への事業展開を目指す中小企業を含むグループに 対し、独立行政法人科学技術振興機構 JST イノベーションプラザ京都と連携の上、研究開発プロジェクトや事業化へのステップアップを支援する。

京都市

・「京都バイオシティ構想」における重点3分野の一つ「医学と工学の融合分野」において、「医・工・ライフサイエンス連携プロジェクト」を検討。



出典)京都市提供資料より